

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名：新型コロナウイルス感染症の流行による自粛生活が中枢性思春期早発症の発症に与えた影響』

研究機関名：東邦大学医療センター大森病院

研究責任者：小児科 職位・氏名：助教・植田有紀子

【研究の目的】

新型コロナウイルス感染症流行に伴う学校休校や自粛生活により、子供達の活動量が減少し、体重が増加する児が目立つようになりました。一方、新型コロナウイルス感染症流行後に、思春期が早く開始して病院を受診するお子さん(女兒)が、例年に多く多を経験しました。体重の重いお子さんは思春期が早く開始する傾向があるため、自粛生活による体重増加が、思春期が早く開始するお子さんが多かった要因ではないかと推察しています。

私達のこの推察が本当に正しいかを検討することが、この研究の目的です。そのため、新型コロナウイルス感染症流行の前と後に受診された患者さんを比較し、思春期が早く開始した要因を検討したいと考えています。

この研究で得られる成果は、適正な体重を保つことの重要性の啓蒙につながると考えます。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者：2015年4月から2021年3月の間に、乳腺腫大または月経開始にて、5歳以上で東邦大学医療センター大森病院小児科を受診し、「中枢性思春期早発症」と診断された患者さんです。

方法：診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

試料は用いません。

情報：カルテに記録してある身長、体重の測定値、
ご両親の身長、お母様の初経年齢、初診時の骨年齢

【外部への試料・情報の提供】

外部に試料や情報を提供することはありません。

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者さんに不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】 東邦大学医療センター大森病院 小児科
職位・氏名 助教・植田有紀子 電話 03-3762-4151 内線 6650